

墨田区食育推進計画（素案）に対する意見について

意見等の提出件数 提出者数 3名
 提出意見数 6件

意見の概要	区の考え方
<p>【17 ページ】中学生</p> <p>「多種多様な食にふれ、食域の幅を広げながら、食を大切にする心を養い…」とあるが、小学生においても「食」を大切にする心を養う必要があると思われる。</p> <p>また、料理作りにおいては、栄養の大切さなど様々な食育教育の入口（手段）として効果的だが、コンロや包丁などの調理器具を正しく扱う、さまざまな料理方法を学ぶ、感性を刺激するという点でも、火を使用した料理を行うことは大変重要である。</p>	<p>ご指摘のとおり、小学生にも「食」を大切にすることを養う必要があると考えております。小学生と中学生の発達段階などを考慮し、また、表現が重複しないよう留意して作成しています。小学生において「食」を大切にする心を養うということについては、16 ページ本文 4・5 行目に表現しています。</p> <p>食育教育については、今後の事業展開の中で具体的な取り組みを進めていきます。</p>
<p>【19 ページ】高齢</p> <p>高齢者向けの料理教室を追記してはどうか。高齢者の自立支援としては、栄養を考えるだけでは無く、自分で料理をすることで食の選択や、買い物などによる地域とのコミュニケーション、食の自立が図られ、結果としては高齢者の自立支援、介護予防につながると考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、高齢者の自立支援、介護予防につながる取り組みが必要と考えます。老人福祉施設などでは、すでに取り組みされている事例があります。</p> <p>また、高齢者を対象とした「寝たきりにならないための栄養講習会」、トータルライフステージの取り組みにある「各世代を対象とした料理教室」などで実施しており、今後も充実させていきます。</p>
<p><u>「食育推進担当を設置する」具体的な内容について</u></p> <p>13 ページ「食育推進担当の設置」、14 ページ「一貫性のある長期的な取り組みを行う」「食育推進ネットワークを構築し関係者がすみだ食育推進会議などにおいて事業展開する」とある。23 年度までの 5 年間で成果をあげるためには全体を総括できる総合調整機能を発揮するための専門の食育推進担当者の適正な配置が不可欠。具体的な案は？</p> <p>推進計画を具体化するためには食育推進対策室などの設置を含めて管理栄養士を配置する等適切な人員配置をお願いしたい。</p>	<p>現在、食育推進は保健計画課を中心とし、関連部署と連携して行っていますが、今後、総合調整機能を発揮できるような組織の設置に努めてまいります。</p>

意見の概要	区の考え方
<p>「家庭、学校、地域が連携して子どもの食育を進める」活動では学校給食の役割が大きい。栄養教諭による栄養教育や食生活指導が子供を通して保護者へ、保護者から地域へ広まっていくことが期待される。小中学校への栄養教諭の配置を進めてほしい。</p>	<p>学校の給食や栄養指導については栄養士や養護教諭などが担っています。今後、より充実した食育指導が図られるよう、学校教育全般を通じた取り組みの強化に努めていきます。</p>
<p>なるべく図や絵などで小中高校生にとっても自分たちのページがあると参考に出るかと思う。</p>	<p>ご提案いただいたことなどの検討を進めていくため「すみだ子ども食育推進会議」を設けています。今後、会議の中で、ご提案いただいたことの実現も踏まえ検討していきます。</p>
<p>お年寄りを町に出していける、町ぐるみで見守りのできるランチ紹介(少し補助を出す)など生活につながるものをお願いしたい。</p>	<p>「商業活性化すみだプログラム」の中で、「商店街」が地域にとってなくてはならない存在であり続けるために、高齢者が多い地域などで地域密着型サービスの展開など商店街の地域特性に合わせた取り組みが行えるよう支援をしていくこととしています。今後、このプログラムとも連携しながら施策を展開していきます。</p>